広報
かわかみ
11
2018
No.740

水のつながりプロジェクト
「稲刈り体験」

きれいな水を「ありがとう」
秋の実りを「いただきます」

●主な内容●

総務大臣来村 2
栗山村長意見発表 3
村民大運動会 4
匠の聚フォトコンテスト 5
水のつながりプロジェクト 6

川上宣言

一、私たち川上は、かけがえのない水がつくられる場に暮らす者として、下流にはいつもきれいな水を流します。

（川上宣言は全部で5つの項目になります。毎号1項目ずつ掲載していきます。）

石田 真敏新総務大臣が来村

かわかみらいふなどの取り組みを視察

地域コミュニティーを維持する取り組みを視察するため、石田真敏総務大臣が10月21日(日)に来村されました。石田大臣は同月2日に総務大臣に就任され、地域活性化の取り組みに関する視察目的で自治体を訪問するのは、就任後初めてのことです。

役場第1会議室にて、まずは阪口副村長が歓迎のあいさつを行い、併せて村の現状と取り組みの報告を行いました。続いて、かわかみらいふ事務局の三宅主任よりかわかみらいふの事業紹介を、本村地域おこし協力隊の渡邉さん、OBの横堀さんと竹中さんより、それぞれが取り組む地域づくりを紹介し、意見交換が行われました。

意見交換を行う石田大臣

石田大臣は「今回の訪問が、地方が抱える人口減少・過疎化問題に関して、総務省がどのように協力できるかを一緒に考えていくきっかけになれば」と話され、また本村の取り組みに対して「買い物弱者対策や協力隊員の活動などどれも興味深い。今後も持続していくよう頑張ってください」と激励のお言葉をいただきました。

このご縁を活かし、今後も総務省と協力して水源地の村づくりを進めていきます。

役場前にて移動スーパーを視察

第5回 川上村議会臨時会

契約締結について可決される

10月17日(水)、第5回川上村議会臨時会が開催されました。住宅建設事業請負契約の締結について審議が行われ、可決されました。

◎川上村定住促進住宅建設事業請負契約の締結について

9月3日に公募型プロポーザルに付した定住促進住宅建設事業について請負契約を締結するため、地方自治法の規定により議会の同意を求めるものです。

詳細は次の通りです。

契約の目的
川上村定住促進住宅建設事業

契約の方法
随意契約(公募型プロポーザル)

契約の金額
88,452,000円

相手方
奈良市西大寺国見町
1丁目4番1−1号
大和ハウス工業株式会社奈良支店
支店長　井上　富重

栗山村長が意見・事例発表

第32次地方制度調査会／全国市長村長サミット2018in鳥取

専門小委員会にて意見発表をする栗山村長

2040年ごろの人口減少を踏まえ、中心都市と近隣自治体による広域的な行政主体「圏域行政」を視野に入れた、新しい自治体のあり方を議論すべく、現在第32次地方制度調査会が開催されています。9月27日に中央合同庁舎4号館（霞が関）で行われた専門小委員会には、本村の栗山村長が出席し意見発表を行いました。

地方制度調査会とは、現行の地方制度を検討することを目的に、内閣総理大臣の諮問に応じて地方制度に関する重要事項を調査審議することを任務とする諮問機関です。

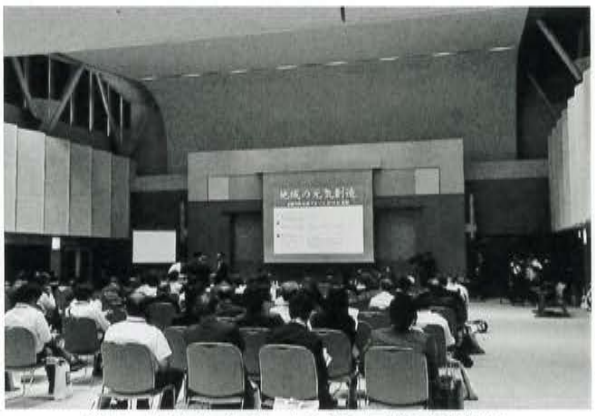
栗山村長は、大滝ダム建設を機に「樹と水と人の共生」を覚悟し、「水源地の村づくり」の意義と価値を説明すると共に、自主・自立を尊重しながら連携行政を展開している「奈良モデル」の成果などを主張しました。

※8ページ「頑張ります！栗山です」も合わせてご覧ください。

地域の元気創造をテーマに、「全国市町村サミット2018in鳥取」が10月11日に米子コンベンションセンター（鳥取県米子市）で開催され、栗山村長が事例発表を行いました。

平井伸治鳥取県知事をはじめ全国より27市町村の首長が参加し、大学教授等有識者による講演に加え、3会場に分かれた分科会ではそれぞれのテーマに合わせて事例発表やディスカッションがなされました。

栗山村長は第1分科会にて「地域資源を活用する」というテーマのもと、本村の取り組みを、特に「関係人口の創出」に触れながら発表しました。発表後に他の市町村長から、今後の移住定住促進の取り組みの方向性について問われると「地域おこし協力隊を含めた若い世代の移住者には、村民や村の職員に対して大きな刺激をもらっている。今後も〝村への想い〟を共有できる人とマッチングできる仕組みづくりに取り組んでいきたい」と答えました。



第1分科会会場（2階 国際会議室）

質問に答える栗山村長

他の首長が発表する様子

スポーツの秋に響く声援

第3回 川上村民大運動会

天候にも恵まれ、10月8日(月・祝)に川上村民大運動会が開催されました。爽やかな秋晴れのもとで約500人の村在住・在勤の人たちが集まり、子どもからお年寄りまで一緒に汗を流し、大いに盛り上がりました。

これは「少人数ながらも勉強に運動にしっかりと取り組んでいる子どもたちの姿を、1人でも多くの方に見ていただき、子どもも大人も活力を得てほしい。また村内で生活する者が一堂に集い、運動を通じて川上村の秋の1日を楽しく過ごしてもらいたい」という思いから、保育園・小中学校の運動会と村民体育大会を合わせて、村の一大イベントとして行うようになったものです。

今年の開会式では、川上小唄に合わせた健康体操「川上らくらく体操」を準備運動として全員で行いました。また、毎年盛り上がる一般参加のリレーでは、昨年優勝の消防団チームを抑え、学校の先生チームが見事に優勝を勝ち取り、客席からは大きな歓声が上がりました。

匠の聚フォトコンテスト2018 川上村の情景

匠の聚大賞

『清流探訪』　吉村　誠　氏

今年の「匠の聚フォトコンテスト」入賞作品が決定しました。自然豊かな川上村の情景や動植物、人々の暮らしと文化を様々な視点から捉え、村で暮していても気付かない新たな一面を再発見したり、また都市部の人たちに村の魅力を発信することを目的に毎年開催されていて、今年で18回目を迎えます。

10月14日(日)に匠の聚にて行われた授賞式では、厳しい審査を勝ち抜いた10人が表彰され、村内からも辰巳八郎さん（大滝）、山本直美さん（伯母谷）、松本勝典さん（大滝）が入賞されました。授賞作品は11月27日までの間、匠の聚ギャラリーにて展示されていますので、ぜひご覧ください。

見事に匠の聚大賞を受賞された大和高田市在住の吉村誠さんにお話を伺うと「私にとって写真とは感動を撮りためるもの。被写体との出会いは一つの〝縁〟であり、何度も足を運ぶことが重要だと思う」と話してくれました。

最後に「川上村にはたくさんの被写体があり、これからも足を運び続け、来年また応募したい」と意気込みを話されました。

栗山村長から表彰を受けた吉村さん（右）

その他の上位入賞者（敬称略）

川上村長賞		
「厳寒５景」	山本	公弘
川上村議会議長賞		
「川上村の源」	齋藤	貞夫
水源地の村賞		
「森と共に生きる」	近	秀幸
観光協会長賞		
「暮らすkawakami」	吉田	冨美
スポンサー賞		
「暑き日を偲ぶ」	松本	勝典

水のつながりプロジェクト 稲刈り体験

川上小学校と今井小学校（橿原市）の5年生が、10月17日に橿原市で「稲刈り体験」を行いました。これは大和平野土地改良区と川上村が共催して実施するもので、吉野川分水によって繋がる大和平野での農業体験を通じて、水源地の役割と米作りについて学習するものです。

児童らは農家の方の手ほどきを受けて、のこぎり鎌を使った稲刈りと、稲束をわらで縛って干す作業〝はさ掛け〟を行いました。

この日刈り取ったお米は本村に贈呈され、小学校の給食として提供される予定です。

稲束を縛る作業に没頭する児童たち

源流を知り、学ぶ 森林体験学習

川上小学校5年生が、森と水の源流館によるESDの取り組みの一貫で、10月15日に水源地の森で森林体験学習を実施しました。ESDとは、「持続可能な開発のための教育」と訳され、子どもたちが他人や地域、自然環境との関りを理解し、それを尊重できる大人になり、次の社会へとつなげるための教育のことです。

児童たちは森を歩き、様々な生物を観察することで森に親しみ、森の役割を学びました。この体験を通じて、源流の大切さに気付き、誇りをもってこの村で暮らしていってくれることを願います。

様々な生物を観察する児童たち

山の暮らしを豊かにする 生活の道具づくり教室

教育委員会の「生涯学習教室」の一貫で、ものづくりを通じて会話や人とのふれあいを楽しんでもらうことを目的に、大滝と高原の2地区で道具づくり教室を実施しました。匠の聚の芸術家の先生を講師に迎え、陶芸や木工トレイ・カトラリーづくり、苔の寄せ植えを行い、最後に自身で造った陶器を使いお茶会を行いました。

参加された方は「難しそうな作業でも、先生が丁寧に教えてくれるのでよかった。教室後のお茶会が楽しみでした」と話してくれました。

苔の寄せ植えを行う参加者の皆さん

遠く離れた源流の地で 第9回源流サミット

第9回全国源流サミットが10月20日(土)に開催されました。これは全国の源流に位置する自治体が集い、源流の魅力や大切さを再確認すると共に、全国へ向けて源流再生への取り組みを発信していく目的で毎年開催されています。

今年は高津川源流の島根県津和野町で開催され、川上村からは費用を負担して17人もの村民の皆さんにご参加いただきました。

源流の村として、伝え続けなければならない大切なものがあると気付かされたイベントでした。

交流会で歌声を披露する
コーラスグループ「華音」の皆さん

皆さんの気持ちを届けました 豪雨災害義援金

村では、平成30年7月豪雨災害の被災者救援のため、村内に募金箱を設置していました。皆さんのご協力もあり、836円（10月1日現在）の募金が集まりました。

お寄せいただいた募金は、10月2日に日本赤十字社奈良県支部に届けさせていただきました。ご協力いただいた方には心から感謝申し上げます。

引き続き、平成30年北海道胆振東部地震災害義援金の募金を実施しています。皆さんのご支援ご協力よろしくお願い致します。

榎原邦員事務局長に義援金を手渡す栗山村長

命の大切さを学ぶ 人権出前教室

人権の尊重や命の大切さを教えるため、10月16日（火）にやまぶき保育園にて人権出前教室が開催されました。

これは五條人権擁護委員協議会が、園児たちに幼いころから人権について触れ、学んでもらうことを目的に開催しているもので、森口源次委員、上平守男委員をはじめとした委員の皆さんが来園し、紙芝居や絵本の読み聞かせを通じて人権学習を行いました。また人権イメージキャラクターの「人KENまもる君・あゆみちゃん」も登場し、園児たちは大喜びでした。

絵本の読み聞かせを行う人権擁護委員の皆さん

清流

月をたばる里

今年は雲間をわたる中秋の名月でした。お月見が中国から伝わった平安時代から、人人は雲一つない完全な月の眺めより、かえって雲間の月という不完全さに風情を見出してきました。

そんな名月の夜は、この村の中年以上の人なら誰でもが経験した「芋名月」と「豆名月」の習俗がありました。家々の山畑で穫れたもの、芋名月には里芋やお団子など、豆名月には枝のままの大豆や栗などを三方に乗せ、芒を挿して月をお祭りしました。子供達は夜を待ちかね、面桶を包む打ち飼という袋を母から借りて、「名月賜らしてんけ」又は「名月賜らしてや」など、口々に声をかけ、内からは「さあどうぞどうぞたばってや」と答え、お供えものを袋に入れてもらいました。川上村ではお供えものをお下げする時にも「たばっておいで」と母から云はれましたし、派生的には、餅撒きの餅やボールをキャッチすることも「たばる」と云います。「たばる」は「賜る」の意味で、今では一般に使われなくなった「古語」よりもっと古い、奈良時代の万葉集にも出てくる日本語の母体の「上代語」であることから、なにげなく使ってきた言葉が大昔からこの村に残り、使い続けられていることは驚きです。

10月初めに秋の例大祭が施行された、祈雨止雨の丹生川上神社の崇敬文書が天平時代の記録に残っていることからも、村の歴史の深さとその土地柄が想像されます。

月へのお供えものを子供がいただくという行事は、全国的に残っており、この前NHKで愛知県日進市の「お月見どろぼう」が放映されましたが、そのどれもが収穫の喜びをすべての人と分かちあい、豊作を祈る思いの表れにほかありません。

思えば林業を生業として、四季の移ろいの中での何日かを、こんな楽しい思い出の日々をしつらえ、自然に感謝し、自然と共に、助けあって生きてきた村人の豊かな情感の証しなのかもしれません。

住川準典

『頑張ります！栗山です』

「水源地の村づくりが的外れな施策とは考えていません。しかし、さらに努力と工夫を重ね、東京への一極集中の流れに逆らいながら、この地で生きぬく覚悟です」と締めくくりました。

このほど安倍首相の諮問機関である第32次地方制度調査会が開催され、所管する総務省からお声かけをいただき、このようなお話しをする貴重な機会をいただきました。

その内容は、今の自治体のあり方を根本的に見直し、一定の「圏域」（中心都市と近隣自治体による広域的な行政主体）で行政サービスを実施するものです。私は、これらの動きに強い危機感を抱いており、今回はいい機会に意見を求められたと考えています。

もちろん、2040年ごろの人口予測を見ても〝現状を維持〟することは難しいかもしれません。しかし今、すべての市町村が地域の存続をかけて地方創生に必死で取り組んでいることや、教育など村の独自性が失われないかという懸念、さらには半世紀もの長きにわたるダム事業に翻弄された末、一大決心で村の生き方を「水源地の村づくり」とした覚悟を考えると、そうやすやすと「ハイ」と言うことは出来ません。

今回の調査会で、国には〝水源地の村の**決意**や**覚悟**〟は届いたと確信しています。しかしこれに満足することなく、今後もより一層気を引きしめて水源地の村づくりに取り組んでいきます。

村づくり塾 活動中です！

今後の村づくりについて、学び・考える「村づくり塾」が活動しています！

次回は、下記のとおり会議を行います。

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお問い合わせください。皆さんの参加をお待ちしています。

と　き　12月4日(火)
午後7時～

ところ　役場第2会議室

内　容　移住者の方との意見交換

【問い合わせ先】
定住促進課 TEL 52－0111

笑顔キラキラ やまびき保育園

園外保育へ行って来ました！

10月19日(金)、幼児組のみんなで五條中央公園へ園外保育に出掛けました。お天気にも恵まれて、公園に着くと、子どもたちは目を輝かせて大喜びです。たくさんの遊具で夢中になって遊びました。

中でも、一番人気だったのはトランポリンです。子どもたちは、大きなトランポリンの上でお友だちと一緒に手をつないで跳んだり、滑り台のように滑ったり、お山のように何度も登ったり、まるで大きなふかふかのベッドのように寝転んだりと、全身を使ってダイナミックに遊びました。

アスレチックとっても楽しかったよ！

トランポリンふかふかで気持ちいいな！

たくさん遊んだあとは、お楽しみのお弁当の時間です。朝早くから、お家の方が作ってくれた、愛情いっぱいのお弁当をもりもり食べました。

午後からもたくさん遊び、そして帰る時間に。「楽しかったね！」「またこようね！」とみんなで話をし、バスに乗って保育園に戻りました。帰りのバスの中では、遊び疲れたのかみんなスヤスヤと夢の中。どんな夢を見たのでしょうか。きっと、お友だちと一緒に遊ぶ、楽しい夢だったのではないかと思います。

国民年金保険料は社会保険料控除の対象です！

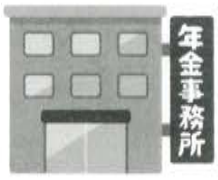
国民年金保険料は、健康保険や厚生年金などの社会保険料を納めた場合と同様に、社会保険料控除としてその年の課税所得から控除され、税額が軽減されます。

◆控除の対象となるのは、平成30年１月から12月までに納められた保険料の全額です。過去の年度分や追納された保険料も含まれます。

◆ご自身の保険料だけではなく、ご家族（配偶者やお子様等）の負担すべき国民年金保険料を支払っている場合、その保険料も合わせて控除が受けられます。

◆なお、平成30年中に納付した国民年金保険料について、社会保険料控除を受けるためには、年末調整や確定申告を行うときに、領収証書など保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要となります。11月上旬に日本年金機構から「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送られますので、申告書の提出の際には必ずこの証明書または領収証書を添付してください。※平成30年10月１日から12月31日までの間に、今年はじめて国民年金保険料を納められた方へは、翌年の２月上旬に送られます。

◆税法上とても有利な国民年金は、不慮の事故など万一のときにも心強い味方となる制度です。保険料は納め忘れのないようキチンと納めましょう。



【問い合わせ先】
大和高田年金事務所　TEL ０７４５－２２－３５３１
役場住民福祉課　TEL ５２－０１１１

こんにちは保健師です

風疹にご注意を！

テレビでも多く放映されているように、７月下旬ごろから風疹の患者数の報告が増加しました。現在は落ち着いていますが、今後も注意は必要です。

風疹とは、風疹ウイルスによって引き起こされる急性の発疹性感染症で、免疫がない集団においては、１人の患者から５～７人にうつる強い感染力があります。感染経路は飛沫感染（咳やくしゃみ等）で、ヒトからヒトへと感染します。特に成人で発症すれば、高熱や発疹が長く続く等、重症化することがあり、合併症もあることから決して軽視はできない疾患です。また、風疹に対する免疫が不十分な妊娠20週までの妊婦が風疹ウイルスに感染すると、心臓や目、耳に障害をもつ子どもが生まれてくる可能性が高くなります。妊娠中の女性は予防接種を受けられないため、特に流行地域においては、抗体を持たない、または抗体価の低い妊婦は可能な限り人混みへの外出を避けるなど、注意してください。また、妊婦の周りにいる人は風疹に感染しないよう予防に努めてください。

Q. ワクチン接種を受けたほうが良いのはどのような人？

A. 現在の定期接種の対象者は１歳児、小学校入学前の１年間の幼児ですが、定期接種の時期にない人で、「風疹にかかったことがなく、ワクチンを１回も受けたことがない人」はかかりつけの医師にご相談ください。また、妊娠を希望する女性や、妊婦の家族はぜひ抗体検査を受けて、抗体価が低い場合は接種の検討をしましょう。

川上村では、乳幼児・妊娠を希望している女性とその配偶者の方は無料で接種することができます。自分の身はもちろん、周りの人や未来の赤ちゃんを守るためにも、ぜひ一度ご検討ください。

のびっ子広場

ニコニコ☺マザールーム
とき　11月27日（火）
　　午後２時30分～４時
リズム遊び（加藤直美先生）
とき　11月14日（水）
　　午前10時～11時30分
ところ　やまぶき保育園
持ち物　お茶・タオルなど
【問い合わせ先】
やまぶき保育園　TEL ５２－００１９

住まいるネット移住者紹介

定住促進課では、田舎暮らしを希望する都市部の方に空き家の紹介を行う『住まいるネット』(空き家バンク)、村内の案内や住宅、求人募集中の事業所を紹介する『川上ingツアー』を実施しています。

これは、村内の空き家の有効活用や若者の定住・移住の促進、集落の活性化を図ることを目的としています。

平成26年からこれまでに、18世帯51名(内中学生以下は18名)の方の移住がありました。

今回は、白川渡村営住宅へ移住した山田さんご家族を紹介します。

私たちが川上村を知ったのは友人の紹介でした。

4月に初めて村を訪れた時、雄大な山々の景色と清々しい空気、案内してもらった先々で出会った方々の温かい人柄に触れ、即座に「この村に移住したい!」と思いました。子どもたちも気に入り、5月には家族そろって住宅見学に来ました。ご近所さんとの良いご縁もあって、白川渡に移住することを決めました。

とんとん拍子に話が進み、7月にはめでたく村民になることができました。

3人の子どもたちは、たくさんの方々に日々、可愛がっていただいています。また主人は、かわかみらいふの移動スーパーで、村民の皆さんと関われる仕事にやりがいを感じています。私も友人ができ、毎日楽しく過ごしています。

今後とも、賑やかな山田家をよろしくお願いします。

求む! 空き家バンク登録物件

お気軽にお申し込みください。

【問い合わせ先】

定住促進課 TEL 52・0111

かわかもんがゆく。
―地域おこし協力隊活動記―

早いもので、川上村に住み始めて半年が経ちました。この間の大事件と言えば、中奥区在住の私にとっては、なんといっても台風災害です。被害が大きいことにはもちろん驚きましたが、あわせて、住民の皆さんの対応力の高さにも心底驚きました。適切な避難行動もそうですし、台風通過後の処置も、「すごい!!」としか言いようがありません。ということから始まって、「村で必要な生活技術と継承について深く考えたい」とも思っているのですが、せっかく秋も深まってきたので、今回は、村生活の別側面である、芸術(生涯学習教室)について語りたいと思います。

年賀状の図案を学ぶ

私は村に来て「絵てがみ教室」に通い始めました。始める前は、優雅に筆を持ち和やかに談笑するというイメージを持っていましたが、実際には見よう見まねで必死についていく半年でした。何十年かぶりに宿題もしました(笑)。教室の皆さんは素人の私に対しても温かく接してくれます。作品の相互鑑賞もとても楽しく、早く描けるようになりたい!と思わされます。半年の成果は、この文章がお手元に届く頃、「山幸彦まつり」のカレンダー作品として遺憾なく発揮されていることでしょう!ぜひ、ご笑覧ください。

春夏秋と、中奥でとても気持ちのよい季節を過ごしてきました。初めての冬も、しなやかに過ごしていきたいと思います。皆さんの冬の生活技術もぜひ教えてください。引き続きよろしくお願いします。

(越智祐子)

かわかみらいふ通信

かわかみらいふ ギフトや祭の景品などに 「かわかみらいふの商品券」販売中！

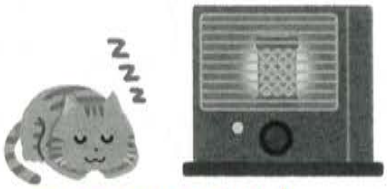
移動スーパー・かわかみＳＳ・コミュニティカフェ（ふれあいセンター内）にて使用できます。
お気軽にお問い合わせください。
【問い合わせ先】かわかみらいふ ℡ ５４－０５２１

コープ宅配 大好評 かわかみらいふのならコープ宅配

10月から村内全域でかわかみらいふのコープ宅配がスタートし、多くの方にご利用していただいてます。
本当にありがとうございます。
まだまだ新規会員募集中ですので、ぜひご入会ください！
【問い合わせ先】
かわかみらいふ（吉田・三宅） ℡ ５４－０５２１

かわかみSS 冬支度はかわかみＳＳで！

すっかり寒くなり、灯油が必要な季節が始まりました。
村内どこでも配達しますので、ぜひご利用ください！



月・火曜日 武木～入之波の方が対象

水・木曜日 東川～井戸の方が対象

お早めにご注文下さい！

【問い合わせ先】かわかみＳＳ ℡ ５２－０７１５

かわかみらいふの看護師からひとこと

インフルエンザが流行しています。
予防が大切です。
「手洗い」「うがい」は効果大！
出かける時はマスクをお忘れなく!!

～樹と水と人の共生・川上村の情報～

かわかみ満足ガイド

匠の聚

□匠と創る！ 文化講座「一刀彫干支づくり」

奈良の伝統工芸「一刀彫」で来年の干支「亥」を制作します。刃物など道具類は貸出しさせていただきますので初心者の方でも大歓迎です！

と き　12月2日(日)
じかん　午前10時～午後5時（制作終了後解散）
ところ　匠の聚
講 師　木彫・松本一平
費 用　3,500円（税・材料費込）
定 員　先着15名
締 切　11月27日(火)

□フォトコンテスト入賞作品展示中

今年度のフォトコンテストにおいて、各賞が決定し全18点の力作を展示中です。どの作品も川上村の誇りであり、鋭い視点で切り取られた秀作ばかりですのでぜひお誘い合わせの上ご高覧ください。

と き　11月27日(火)まで
じかん　各日午前10時～午後5時
ところ　匠の聚ギャラリー

□「猪鍋定食」好評販売中！

寒い日にはあったかお鍋！カフェにて「猪鍋定食」を販売しています。ご飯とミニゆでうどんまで付いて1,200円（税込）。

ピリ辛のクセになる味をぜひお召し上がりください。

【申し込み先・問い合わせ先】
《匠の聚　TEL 53－2381》

森と水の源流館

□企画展「川上村の身近な野鳥写真展」

森と水の源流館の周辺で見られる身近な野鳥を写真で紹介します。

と き　11月8日(木)～3月31日(日)
入館料　一般 400円／小中学生 200円
※川上小・中学生は無料

□「源流の日」記念事業

2014年の「全国豊かな海づくり大会」を記念する日に和歌山県立自然博物館の学芸員さんが海のいきものについて出前授業を届けてくれます。保育園、小学校、中学校を対象とした授業ですが一般の方々にもご参観いただけます。

※当日は入館料無料

と き　11月16日(金)
じかん　午前10時～午後3時30分

□源流学の森づくり（ボランティア）

30年ほど前に伐採され、再生しつつある天然林を立派な源流の森に戻すべく試行錯誤しています。山小屋を拠点に除伐したり、作業歩道を補修したり、土留めや獣害防止について考えたり、森を整備します。

と き　11月23日(金・祝)
じかん　午前9時～午後5時
ところ　源流学の森
※森と水の源流館集合・解散
定 員　10名　※小学5年生以上

【申し込み・問い合わせ先】
《森と水の源流館　TEL 52－0888》

ホテル杉の湯　秋・冬の星空観察プラン

白屋地区で星空観察会付きの一日限定プランです！普段何気なく見ている夜空。川上村の夜空は環境光の影響が少なく、とても美しい星を観る事ができます。望遠鏡や双眼鏡をご用意して、星のソムリエがお待ちしております。この機会に故郷の星をゆっくり眺めませんか。

と き　11月15日(木)・16日(金)・12月8日(土)・14日(金)・15日(土)
定 員　先着20名　対 象　宿泊者　費 用　17,000円（1泊2食付　税・サービス料込み）

【申し込み・問い合わせ先】《ホテル杉の湯　TEL 52－0006》

ふるさと市開催日

11月　11日・18日・23日・24日・25日　12月　冬期はお休みします。

【問い合わせ先】《地域振興課　TEL 52－0111》

11・12月 村の行事予定

表の見方 行事名 じかん ところ

曜日	日	月	火	水	木	金	土
日	11／11	12	13	14	15	16	17
内容	山幸彦まつり 8：30～ 役場周辺	ノルディックウォーク 13：30～15：30 ふれあいセンター	ノルディックウォーク 13：30～15：30 川上中学校	のびっこ広場 10：00～11：30 やまぶき保育園		ノルディックウォーク 13：30～15：30 健民グラウンド 源流の日記念事業 10：00～15：30 森と水の源流館 源流の日記念ライトアップ 1／6まで 杉の湯周辺	ふれあいまつり 10：00～14：30 旧白屋地区 一刀彫講座 10：00～15：00 匠の聚
日	18	19	20	21	22	23	24
内容	シルバー人材センター10周年記念式典 13：00～ やまぶきホール			Jアラート試験放送 11：00	小学校マラソン大会 11：00～ さくら通り 柿の葉寿司祭 10：45～13：00 杉の湯		
日	25	26	27	28	29	30	12／1
内容			ニコニコマザールーム 14：30～16：00 やまぶき保育園				
日	2	3	4	5	6	7	8
内容				図書館クリスマス会 午後（詳細未定） 村立図書館		へき地巡回診療 9：30～11：00 13：00～14：00 （受付時間） ふれあいセンター	かみせタイム 13：00～16：00 やまぶきホール
日	9	10	11	12	13	14	15
内容				シリーズ講演会（鉄田憲男氏） 15：00～17：00 杉の湯		生活発表会 10：00～12：00 やまぶき保育園 体協ボウリング大会 18：45～21：00 吉野ラッキーボウル（大淀町）	

へき地巡回診療（眼科・耳鼻科）のお知らせ

今年も、南和広域医療企業団による「へき地巡回診療」を行うことになりました。

眼科・耳鼻科の専門医による診察になります。受診希望の方は下記の日程で行いますので、事前に役場まで申込みしていただき、当日は直接会場にお越しください。

とき　12月7日(金)　受付：午前9時30分～11時・午後1時～2時

ところ　ふれあいセンター（北和田）　費用　無料

内容　眼科（視力検査・眼底検査・眼科診察）と 耳鼻科（聴力検査・耳鼻科診察）

【申し込み・問い合わせ先】 住民福祉課　TEL 52－0111

図書館だより

11月18日(日)は家族の日
11日(日)～24日(土)は家族の週間

内閣府は平成19年から11月第３日曜を「家族の日」とし、その前後各１週間を「家族の週間」と定めています。今月は家族についての本をご紹介します。

「幸福な食卓」

瀬尾まいこ（講談社）

一般的に見れば少し変わっている、中学生の佐和子の家族。それぞれの人生を生きながらもちゃんと関わり合って、日常は静かに流れていきます。数少ない登場人物が個性的です。

「こどもスケッチ」

おーなり由子／文と絵（白泉社）

こどもを育てている人、もう育て終わった人、こどもに寄り添っている人、そしてかつてこどもだった人に！こどもへの想いがたっぷり詰まった、やさしさいっぱいの一冊。

「ぼくがおおきくなったら」

くすのきしげのり／原作
いもとようこ／文・絵（佼成出版社）

「鹿さんのような立派な角もないし、羊さんのようにいっぱいお乳もでない‥」何も自慢することがないという狐のこどもにお母さんが話したのは‥。

図書館カレンダー
●色の日が休館日●

11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

川上村 郷土資料の紹介

「大峰今昔」

銭谷 武平（東方出版）

天川村に生まれた筆者が大峰山系の自然や山上詣りの逸話などをまとめた本です。かつて川上村で珍しいきのこや薬草を採集していた様子などを、古い文書から読み解いています。また、「大峰登山の人たちは、戦前には川上村にある有名な岩屋巡りを必ずしたのであった。」として、どのように岩屋を巡っていたか、現在はどのようになっているのかを考察しています。

お知らせ

① 第３回 図書館 DE トーク１日先生講座

上多古の栢本とも子さんによるＳＯＣＫＭＡＴ（ソックマット）作りを体験しませんか。靴下の製造時に出る端切れを使ってできる、簡単な手芸です。

と　き　11月27日(火)　午後１時30分～午後４時　　ところ　図書館

※時間内であれば入退室は自由です。ひとつの作品をつくる目安は１時間程度です。

参加費　無料　　申　込　お電話で下記まで　※お子さんと一緒に参加できます。

② 秋の読書週間に合わせてスタンプカードを配布しています。来館時にスタンプを押しますので、スタンプが３つ集まればプレゼントをゲット！その際にあなたのおすすめ本を教えてください。詳しくは図書館までお問い合わせください。

【申し込み・問い合わせ先】　村立図書館　TEL ５２－０１４４

森と水の源流館だより

November,2018 vol.192

TEL52-0888 FAX52-0388（水曜休館）

川上村の名所・旧跡 其の三十二

「井口八幡神社（高原）」…南帝王の森から少し下ったところにある井口八幡神社は、後南朝に仕えた井口太郎左衛門ゆかりの神社です。周りには中世（約500～600年前）の土器が散見されています。近くに屋敷跡が眠っているのかも知れません。

※村内の名所・旧跡を簡単に紹介します。エコツアーなどに活用できるように情報を充実させたいと思います。

10月の水源地の森

9月4日の台風21号に続いて、9月30日には台風24号が上陸、さらに25号が10月5日から6日にかけて川上村に大雨をもたらしました。吉野川源流－水源地の森でも大きな影響を受けました。

10月の水源地の森の様子

それでも、10月8日には何とか水源地の中の様子を確認に行くことができるほど水位が下がってきました。台風が過ぎた青空の中の水源地の森の木々の緑は美しく、直前まで濁っていた源流の水の流れも美しい青を取り戻していました。

そんな中、森の奥へ進んでいくと、河畔のサワグルミの樹幹基部に削られた傷があるのに気が付きました。流れてきた大きな岩や流木が削った傷跡です。こんなところまで水が来ていたのかと、自然の力の脅威にはただただ驚くしかありませんでした。

そして、人間が逆らえるものでもないことを痛感します。

根本が削られたサワグルミの木

自然の驚異に対して受けて立つことはただの無謀な行為でしかありません。天災などの災害時には怖さを知った上での行動が大切なことを、頭では理解しているつもりです。しかし、危機が迫ったとき、それを行動に移すことができなかった多くの方が、最近の天災で犠牲になっていることがニュースなどの報道番組で取り上げられました。こんなことになるのだとわかっていれば逃げないはずがないのです。こんなに自然は怖いこともあるのだよとサワグルミが教えてくれたような気がしました。

11月16日は源流の日です

11月16日は「源流の日」です。森と水の源流館では「関西文化の日」の取り組みと併せてこの日を入館無料として、館内でイベントを実施します。

詳しくは満足ガイドのページをご覧ください。

今、学校で　川上小学校　9～10月の様子

9月から10月の行事や子どもたちの様子のいくつかを紹介します。

秋の遠足

全校生で海遊館に出かけました。

高学年がリーダーとなって、縦割り班の班員をうまくリードしながら行動しました。おかげで、混み合っているにも関わらず、生き物をじっくりと観察することができました。

消防署見学

3，4年生は吉野消防署の見学に出かけました。消防車や救急車の中を見せていただきました。また、放水訓練も体験させていただくことができました。

水の勢いに驚かされました。

製麺所見学

1，2年生は、貝谷製麺所さんを見学させていただきました。子どもたちは、素麺が細く細くなっていく様子に感動していました。

体験もさせていただくことができ、とてもよい学習ができました。

がんばりタイム

校内マラソン大会（11月22日実施）に向けて、週3回の6分間走に取り組んでいます。

子どもたちは、自分の走力を伸ばそうと一生懸命に走っています。

水源地の森見学

5年生は、源流館の方に引率していただいて、水源地の森へ行きました。

険しい道が多くて歩くのがたいへんでしたが、水のきれいさと冷たさに感動しました。

遠隔授業

図工科の鑑賞分野で、東吉野小学校と遠隔授業を行いました。作品に対する自分たちの考えを伝え合いました。相手の顔が見えるので、楽しい授業になりました。

いろいろな考えを聞くことができました。

教育かわかみ

第71回 教育長通信

☆全国へき地教育研究大会

今回の全国大会は、近隣の京都で開催されたので、村教委・小中学校から併せて7名が参加しました。へき地校や小規模校には、小中一貫教育校や義務教育学校が増えてきているので、手分けして研修に取り組み、多くの情報を得て帰りました。

☆奈良県へき地教育研究振興大会

今年は、上北山村・下北山村で開催されました。上北山小中学校は全校6名（小学生2名、中学生4名）、下北山小学校は全校20名が公開授業を、下北山中学校ＰＴＡが活動報告を行いました。少人数の授業支援や学校行事の活性化に、大学生や先生、それに保護者が取り組むなどの新しい工夫が発表され、今後のへき地教育のあり方に一つの示唆が提示された大会になりました。

☆吉野郡（東）教育委員会協議会研修会

10月30日(火)、吉野郡（東）教育委員と教育長対象の研修会が実施され、尾鷲市にある三重県立古道センターを訪れました。

このセンターは、熊野古道「伊勢路」（紀伊山地の霊場と参詣道）の世界遺産登録を記念して三重県が建設した施設です。展示物のすばらしさもさることながら、地元産の尾鷲桧・杉を市場に流通する規格のまま使用し、トラス架構や集成材を一切使用せず、同一断面（135㎜角）の芯持ち無垢材の集積による簡潔な新しい木造の構造システムにより建てられているとのことでした。館内の木の香りと共に、木造の直線的な美しさ、力強さに感激しました。

◇11・12月の学校の動き

	〈小学校〉	〈中学校〉
11(日)	山幸彦まつり	
12(月)		3年生三者懇談会
13(火)	歯科検診	
14(水)	研究授業	防災訓練②
15(木)	立哨指導	
16(金)	源流の日（出前授業）	
16(金)	マラソン試走	歯科検診
16(金)	フッ化物洗口	
22(木)	校内マラソン大会	
23(金)	祝日（勤労感謝の日）	
28(水)	期末テスト	
29(木)	期末テスト	
30(金)	期末テスト	
4(火)		3年学力テスト
6(木)	避難訓練	耐寒走開始
8(土)	かみせタイム発表会	
10(月)	振替休日	
13(木)		校内マラソン大会

吉野川・紀の川流域協議会

水環境に関する講演会のお知らせ

と　き　11月23日(金・祝)
じかん　午後1時30分～3時
ところ　上野公園総合体育館　研修室
(五條市上野町246番地)
現地集合・解散
定　員　先着100名
参加費　無料
演　題　長年にわたる吉野川の生物調査から見えるもの
講　師　関西環境教育学会会長
本庄　眞　氏
主　催　吉野川・紀の川流域協議会
申　込　参加者全員の氏名・住所・電話番号を下記までお伝えください
期　限　11月22日(木)

【申し込み・問い合わせ先】
水源地課　TEL 52－0111

環境研修会のお知らせ

和歌山市生活排水対策指導員との交流

川上村環境基本計画推進の一環として、和歌山市民から選任される生活排水対策指導員の方々との情報交換や交流を毎年行っています。
今年は川上村から和歌山市を訪問します。

と　き　11月29日(木)
定　員　10名　※先着順
参加費　無料
行　程　8：30　川上村役場集合・発（バス）
11：00　情報交換・交流
(和歌山市勤労者労働センター)
12：30　昼食（片男波海岸）
15：00　和歌山市内発
17：30　川上村役場着・解散
※到着時間や内容は変更になる場合があります。
申込期限　11月22日(木)

【申し込み・問い合わせ先】
水源地課　TEL 52－0111

2019年度版

県民手帳発売中です

県民手帳には、カレンダー、県内の主な行事、季節の花、救急医療施設、災害対策、年齢早見表、近鉄・JRの路線図など、暮らしに役立つ情報が掲載されています。購入を希望される方は総務税務課までお越しください。

1冊500円(税込)

【問い合わせ先】
総務税務課　TEL 52－0111

特設人権相談所開設のお知らせ

12月10日は「人権デー」
12月4日～10日は「人権週間」

国際連合は、1948年第3回総会で世界人権宣言が採択されたのを記念し、第5回総会において採択日の12月10日を「人権デー（Human Rights Day）」と定めると共に、加盟国等にこれを記念する行事を実施するよう呼びかけています。

法務省と全国人権擁護委員連合会は、毎年関係機関等の協力を得て、「人権デー」を最終日とする1週間（12月4日～10日）を「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及高揚のための啓発活動を全国的に展開しています。川上村でも下記の通り特設人権相談所を開設します。

と　き　12月4日(火)
じかん　午前10時～12時
ところ　役場 書籍室

【問い合わせ先】　住民福祉課　TEL 52－0111

俳句

川上俳句会

矢野典子選

特選　都会子の栃の実ひろい栗と言ふ　上田　一郎（伯母谷）
［評］都会から遊びに来て栃の実を拾って栗と言った。確かに似ていて無理もない。並べてみればその違いが分かる。

特選　杉山で声を限りの秋の蝉　古瀬　和子（大滝）
［評］杉の林中を響かせて鳴く蝉声も夏に名残り惜し気である。空気も澄んで景色も澄み渡っている事が分かる。

佳作　まっすぐに巣に帰る鳥秋の暮　辻井　清子（大滝）
前庭の無花果を先ず仏壇に　新子谷生子（北和田）
ぬくぬくの栗飯届く夕べかな　竹田サダ子（大滝）
入選　颱風禍ろうそく灯す四日間　望月　彰美（迫）
木の実落つ地になじめずに転びゆ　阪本　蓉子（東川）
徒然の夜長なぐさむ山居かな　住川　準典（武木）
名月や吉野の狭き天の川　枡　恭子（東川）

天川吟行

特選　円空の佛の木目秋日濃し　前田　景子（大滝）
［評］吟行句である。橡尾観音堂には鉈彫の円空仏が三体、微笑をたたえておられる。一行は、そのみ佛に癒され渓川の鳴瀬に心洗われて得難い一日を過ごす事が出来た。

佳作　渓谷の崩れ場跡にも秋時雨　松本　全代（大滝）

（川上村人権・同和問題啓発活動推進本部）

診療所からのお知らせ

【整形外科診察日】
と　き　11月21日（水）
受付時間　午前８時30分～11時30分
【巡回診療日】
と　き　11月27日（火）
受付時間　午後２時～３時30分
ところ　ふれあいセンター（北和田）
※受診される方は保険証をご持参ください。
【問い合わせ先】
川上診療所　TEL ５２－０３４４

メンテしましょう！ 住宅用火災報知器

住宅用火災警報器の電池の寿命は、一般的なもので約10年と言われています。「電池切れならば、電池を交換すれば良いのでは？」と思われるかもしれませんが、古くなると本体内部の電子部品の劣化により火災を感知しなくなるおそれがあります。

お宅の住宅用火災警報器は設置されてから何年経っていますか？この機会に確認してみましょう。

動作テスト

警報器のボタンを押す（ヒモを引くタイプもあります）と、テスト音か正常メッセージが流れます。

音が鳴らない時は次のことを確認しましょう。

・電池がきちんとセットされていますか？
・電池切れではありませんか？

それでもダメな場合は機器本体の故障かもしれません。設置後おおよそ10年を目安に本体の交換をおススメしています。

【問い合わせ先】
吉野消防署
TEL ０７４６－３２－１０１１

お誕生日おめでとう！「ますます元気に大きく育ってね」

下西（しもにし） 沙羅（さら）ちゃん（入之波）
（平成28年11月２日）

2歳

これからも元気に
明るく大きくなってね！

猪腰（いのこし） 和（なご）み ちゃん（東川）
（平成26年11月29日）

4歳

4歳おめでとう！
いつまでもそのままで、
いっぱい父ちゃん母ちゃんを
驚かせてね!!

福本（ふくもと） 悠美香（ゆみか）ちゃん（東川）
（平成26年10月７日）

4歳

悠美香ちゃん
お誕生日おめでとう！
これからも笑顔で
元気でいてね。

HAPPY BIRTHDAY

かわかみの生き物

ツキヨタケ（月夜茸）

夜になると、キノコの裏が青緑色に光る幻想的なキノコですが、毎年のように中毒例が発生する毒キノコです。傘は半円形から腎臓形で、長径5～30㎝ほどになります。樹木を分解する腐生菌で、ブナの枯死木や倒木に多いですが、他の樹種にも見られます。北海道南部以南を中心に、極東ロシアや中国東北部にも分布します。川上村でもブナ帯から低山地にまで見られます。

毒キノコとしては、シイタケ、ムキタケ、ヒラタケなどと間違われやすく、下痢、嘔吐症状が見られ、死亡例もあります。これらのキノコと混じって発生していることもあるので注意が必要です。本種の特徴は、柄を裂いたときに、中に黒いシミがあることですが、ごくまれに無いことがあります。

おくやみ

（敬称略）

河西 冨美子（西河）
10月8日 77歳

新子 モモヨ（東川）
10月10日 93歳

川上村応援寄付金

川上村では「川上村応援寄付金」と称し、寄付金を募っています。
左記の方から寄付金がありました。

100万円 匿名希望

村の人口

10月31日現在

人口総数	1,428人	（－5人）
男	676人	（－1人）
女	752人	（－4人）
世帯数	807世帯	（－2世帯）

10月中の異動

転入	5人	転出	7人
出生	0人	死亡	3人

広報かわかみ 平成30年11月12日発行
発行 奈良県川上村／編集 川上村広報編集委員会
〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7
TEL 0746-52-0111
ホームページアドレス http://www.vill.kawakami.nara.jp
メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp